

障がいの重い子どもたちと

みんなでスポーツやゲームを遊びたい！

～ボードベースボール、ドーナツゲーム、フロアリバーシの紹介～

- ・日時 2018年9月1日 13時～(仮)
- ・場所 東京大学情報学環オープンスタジオ
中山未来ファクトリー
(東京都文京区本郷7-3-1・本郷キャンパス)
URL <https://openstudio-utokyo.com/>
- ・講演者 山之内 幹
- ・主催 (公財)中山隼雄科学技術文化財団
(東京都中央区銀座3-15-8)
☎03-6226-6161

参加費 無料

お申し込みは、下記メールアドレスまで

mail@nakayama-zaidan.or.jp



講演者より：

どんなに障がいや病気が重く体が思い通りに動かなくても、多くの人と一緒にスポーツを楽しみたいと願っている人はいるでしょう。そして多くのスポーツでその願いが叶えられたら、それらの人々の生活にもちょっとした楽しみが生まれるのではないのでしょうか。

鹿児島県立加治木養護学校は重度重複障がい児が多く在籍する特別支援学校であり、多くの児童生徒にとって野球はテレビ観戦で楽しむのが常でした。そのような中、一人の子どもが「ボールを打ってみたい」、「試合をしたい」と言ったのをきっかけに、教師と子どもたちによる自分たちでも楽しめる野球作りが始まりました。

そして生まれたのが**ボードベースボール**です。その後、引き続き開発した**ドーナツゲーム**、**フロアリバーシ**も身体的な制限の有無に関わらず、多くの人と一緒に遊んで楽しめるスポーツやゲームです。

特別支援学校内だけでなく、特別支援学校と小・中・高等学校との交流学习や、高齢者等の福祉や医療施設でも是非試みて欲しいと思います。



略歴 1960年鹿児島県生まれ。1984年筑波大学院教育研究科修了。鹿児島県内の公立小学校、養護学校、聾学校に34年間勤務。現在、福岡女学院大学人間関係学部講師。博士(教育学)。

主な著書、「いい子に育てたい ～親の願い、子の願い、教師の願い～」(共著 関西看護出版社 1997)、「特別支援教育における教育実践の研究 ～指導記録の書き方と生かし方～」(批評者 2014)